

第8回アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合の開催について

平成19年12月11日
原子力政策担当室

我が国と地理的・経済的に密接な関係のある近隣アジア地域各国との間で、原子力に関する地域協力について意見交換・情報交換を行うため、FNCA 大臣級会合を日本と参加国で交互に毎年1回開催している。今年度の第8回会合では日本がホストを務める。

会合では、2007年度のFNCA活動の報告や、共同コミュニケ¹の署名、さらには今後のFNCA活動に対する討議等を行う予定。

¹FNCAでは、従来、放射線利用など非発電分野における協力が主であったが、近年の参加国でのエネルギー安定供給及び地球温暖化防止の意識の高まりを受け、「パネル」を設置し、原子力発電に関し議論を行なっている。先年度のパネルの結果を受け、今年度の会合で「持続的発展に向けた原子力エネルギーの平和利用に関するアジア原子力協力フォーラム(FNCA)共同コミュニケ」を発出することとなった。

1.主催

内閣府・原子力委員会

2.開催時期

平成19年12月18日(火)

17日(月):上級行政官会合を開催(プレスオープンなし)

3.開催場所

東京(三田共用会議所)

4.参加国

日本、オーストラリア、バングラディッシュ、中国、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムのFNCA加盟10カ国

プログラム(案)

平成19年12月17日(月):上級行政官会合

平成19年12月18日(火):大臣級会合

【午前セッション】

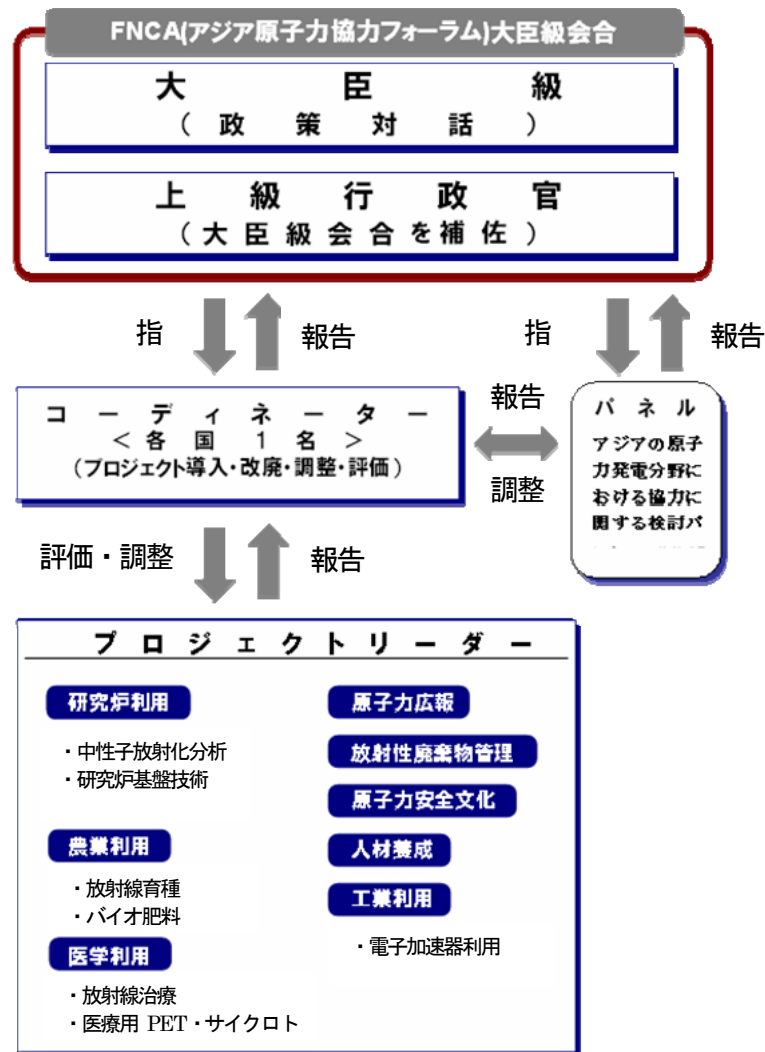
プレスオープン

- 10:30-11:05 オープニングセッション(開会挨拶等) 開会挨拶、各国紹介のみ
- 11:05-11:25 セッション1:FNCA 活動報告
- 11:25-11:40 コーヒーブレイク
- 11:40-12:40 セッション2:原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA 活動

【午後セッション】

- 14:00-14:30 セッション3:放射線利用を中心としたFNCA 活動
- 14:30-15:10 セッション4:円卓討議:FNCA の今後の活動
- 15:10-15:45 コーヒーブレイク(会合サマリー作成)
- 15:45-15:55 会合サマリー
- 16:05-16:45 コミュニケ署名及び閉会セッション

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の枠組み



■大臣級会合

原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

■コーディネーター会合

FNCAプロジェクトの実施責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う各国FNCAコーディネーターによる会合。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議する。年1回日本で開催。

■パネル会合

原子力発電の役割、原子力発電の導入に伴う課題等について専門家及び行政官が検討、討議する場として2004年に設置。毎年1回日本で開催。

■個別プロジェクト

非発電8分野11プロジェクトについて、ワークショップ開催等の協力を実施。

< 参考 >

第1回大臣級会合:平成12年(タイ) 大島科学技術庁長官出席

テーマ:「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」

第2回大臣級会合:平成13年(東京) 尾身科学技術政策担当大臣出席

テーマ:「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」

第3回大臣級会合:平成14年(韓国) 細田科学技術政策担当大臣出席

テーマ:「人材養成戦略」、「持続可能発展と原子力」

第4回大臣級会合:平成15年(沖縄) 茂木科学技術政策担当大臣出席

テーマ:「放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」、

「持続可能な発展と原子力エネルギー」

第5回大臣級会合:平成16年(ベトナム) 棚橋科学技術政策担当大臣出席

テーマ:「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、

「FNCAの今後のあり方」

第6回大臣級会合:平成17年(東京) 松田科学技術政策担当大臣出席

テーマ:「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」

「科学技術と原子力」

第7回大臣級会合:平成18年(マレーシア) 平沢内閣府副大臣出席

テーマ:「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」

「原子力エネルギーの広報」

第8回大臣級会合:平成19年(東京で開催予定)

テーマ:「原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA活動」

「放射線利用を中心としたFNCA活動」